

120年の軌跡

3

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

大正8年～昭和2年



◀市民に親しまれた「ドン」 明治の終わりごろから、市内では、正午を告げる午砲の「ドン」が鳴り響きました。軍事費削減の波に押しこめられ師団司令部で廃止され、市が寄贈を受けた後は、サイレンが設置される昭和7年まで、八幡山で続けられました(下野新聞社提供)。

西暦	年	主な出来事
1927	昭和2	▽市立八幡山公園を開設
1926	昭和15	▽市制施行30周年記念行事として八幡山で花火大会を開催
1924	昭和12	▽宇都宮尋常高等小学校の高等科男子を高等小学校に移し、宇都宮尋常高等小学校を宇都宮中央尋常小学校と改称する
1922	昭和11	▽最初の鉄筋コンクリート建物(下野新聞社)ができる
1921	昭和10	▽師団司令部の午砲が廃止され、市が10月から続ける
1920	昭和9	▽宇都宮市報第1号を発行
1921	昭和10	▽初めての市営住宅60戸が完成
1920	昭和9	▽市役所内に職業紹介所を新設
1919	昭和8	▽上町、下町に公設市場を開設



◀宇都宮市報第1号

宇都宮市年表

はつらっ宮っこ

今、輝いている市民

日々の積み重ねが実った
全国読書感想文 最優秀賞受賞

細谷小学校

小堀 陽生さん



努力をしています。

昨年12月に発表された、小学生対象の読書感想文コンクール「第39回手のひら文庫賞」で、個人賞の自由図書部門最優秀賞に選ばれた小堀さん。全国から15万6000点余りもの応募があった中、各学年1人という最優秀賞に選ばれた快挙に「うれしかったというより、びっくりした」と受賞時を振り返ります。

感想文の題材に選んだ「ハンナの学校」は、盲目の少女ハンナが、周りの子と同じように学校生活を送りたいという夢を叶える話。「ハンナから頑張れば夢は叶う」ということを学んだ」と話す小堀さんは、「ぼくもプロのサッカー選手になるという夢を叶えるため、毎日練習を頑張っています」と自身の夢の実現に向け、

努力をしています。

今回の感想文の手法として活用した手紙方式は、県総合教育センターで行っている「学びの杜」の公開講座で習いました。それに加え、小堀さんの作文力は、「朝早く起きて書くのが習慣になっています」と、2年生から毎日欠かさない日記でも養われています。

「これからも、読書感想文を書いていきたい」と話す小堀さん。日々鍛えられる文章力と、本から吸収した想像力を武器に、成長を続ける姿に注目です。